

魂を呼び覚ます声

東京混声合唱団第228回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

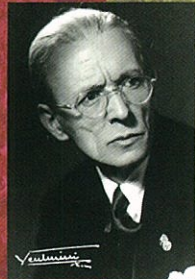
2012年10月12日(金)19:00開演(18:30開場)

東京文化会館小ホール

指揮 松原千振 **M** / 大谷研二 **O**

Conductors : MATSUBARA Chifuru / OTANI Kenji

ピアノ 前田勝則 Piano:MAEDA Katsunori



ピツェッティ 作曲

Ildebrando Pizzetti (1880-1968)

サッフォー 詞

合唱のための2つの作品 (1961) **M**

2 Composizioni corali

1. アフロディテの園 Il giardino di Afrodite 2. 満月が昇った Piena sorgeva la luna



久保摩耶子 作曲

KUBO Mayako

「紙・一枚」—松平盟子 短歌より— **O**

(2012年委嘱作品—東京初演—)



上田真樹 作曲

UEDA Maki (1976-)

谷川俊太郎 作詩

混声合唱組曲 遠くへ (2012) **O**

1. ふるさとの星 2. くり返す 3. にわ 4. 遠くへ



スヴェン・テウール 作曲

Erkki-Sven Tüür (1959-)

エンノ 詞

旅人の夜の歌 (2001) **M**

Rändaja öhtulaul



マデトヤ 作曲

Leevi Madetoja (1887-1947)

淡い月光 Kuu Kalpea (1912) レイノ 詞 **M**

子守唄 Kehtolaulu (1917) キュエステイ 詞

主催 一般財団法人合唱音楽振興会 Association for Promoting Choral Music
入場料(税込み・全自由席) 一般券 4,000円 学生券 2,000円

【前売り・問い合わせ】

東京混声合唱団事務局 〒160-0005 新宿区愛住町23番地 ベルックス新宿ビルⅡ 6F

TEL03(3226)9755 FAX 03(3226)9882 <http://homepage3.nifty.com/TOUKON/>

チケットぴあ TEL0570(02)9999 (Pコード 176-526)

CNプレイガイド TEL0570(08)9990

ローソンチケット TEL0570(000)407 (Lコード 37318)

東京文化会館チケットサービス TEL03(5685)0650

東京コンサーツ <http://www.tokyo-concerts.co.jp/>

(東京コンサーツ HP で予約をして、セブンイレブンで支払い、受け取りができます。)

【出演者プロフィール】


■松原千振
 (常任指揮者)

長野県生まれ。国立音楽大学卒。渡欧。シベリウスアカデミー・マスタークラスを修了。エーリク・エーリクソン、ダン・ウーロフ・ステーンランドに師事。フィンランドを中心に北欧からバルト諸国で活動を続け近年では広くヨーロッパ北米まで客演している。東京混声合唱団には1995年の定期演奏会に初登場。1997年常任就任後4度にわたる東京混声合唱団の全ての海外公演（スウェーデン、ベルギー、フィンランド、エストニア、カナダ、ラトヴィア）を指揮し、2010年7月、フィンランドでの国際音楽祭に東京混声合唱団を率いて全公演指揮した。その間ラウタヴァーラ、マリー・シェイファー、ハーパネンなど国際的作曲家への作曲委嘱を実現させた。


■大谷研二
 (指揮者)

神奈川県生まれ。武蔵野音楽大学卒。渡欧。スウェーデン、ドイツ、イギリスでE・エリクソン、H・リリング、W・シェーファらに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業。89年の武満徹監修「MusicToday」、90年サントリー音楽財団「20世紀の音楽」などの公演で合唱、室内楽を指揮し注目を浴びる。90年度村松賞受賞。いずみホール「音楽の未来への旅シリーズ」、サントリー音楽財団「サマーフェスティバル」などの主要音楽祭出演。韓国、ドイツなどにも活動を広げている。NHK東京児童合唱団常任指揮者、東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。2010年4月より、NHK-FM「ビバ！合唱」のパーソナリティを務めている。

■前田勝則 (ピアノ)

山口県生まれ。東京学芸大学教育学部芸術課程音楽専攻卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科首席修了。ピティナ・ピアノコンペティションデュオ部門特級最優秀賞受賞、多摩フレッシュ音楽コンクール、日本室内楽コンクール、吹田音楽コンクールなどに上位入賞。また、NHK-FM「土曜リサイタル」、東京文化会館新進音楽家デビューコンサート、ABC 新人コンサート、日演連推薦／新人演奏会などのオーディション合格。大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京混声合唱団と共演。現在、ソロ、室内楽、及び声楽・合唱のピアニストとして活発な演奏活動を繰り広げている。

【作曲者プロフィール】

■ピツェッティ (1880-1968) (作曲)

イルデブランド・ピツェッティはイタリアパルマ生まれ。父親からピアノと音楽の手ほどきを受け台本作家を目指したが後に音楽家を志して地元の音楽院に進んだ。ジョヴァンニ・テバルディーニの薫陶を受け、イタリアのルネサンス音楽に開眼。フィレンツェ音楽院院長、ミラノ音楽院院長を歴任した。門人にマリオ・カステルヌオーヴォ＝テデスコなど。音楽評論家としては、イタリア音楽や古代ギリシャの音楽について数冊の著作を残した。《交響曲イ調》は、「皇紀2600年奉祝曲」として日本政府より委嘱を受け初演された作品である。

■久保摩耶子 (作曲)

神戸市生まれ。大阪音楽大学ピアノ科を卒業後1972年ウイーンへ留学。80年ウイーン音楽大学卒業。作曲をハウベンシュトック・ラマティーニ氏に師事。卒業後、ハノーバーとシュトゥットガルトにてヘルムート・ラッヒェンマンに師事。85年からベルリンに拠点を移し、ヨーロッパを中心に作曲活動をする。96年グラーツ歌劇場委嘱のオペラ「羅生門」はヨーロッパ中の新聞、ラジオの批評で絶賛され、98年に再演され、02年日生劇場でも日本初演され、大成功を収める。00年京都市委嘱作品、交響曲第二番「再会」(井上道義／京響)初演。05年新国立劇場委嘱作品オペラ「おさん-心中天網島物語」初演。

■上田真樹 (作曲)

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室、都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科卒。同大学大学院音楽研究科音楽学(ソルフェージュ)博士課程修了。作曲を高橋裕、加藤徹也、川井學の各氏師事。第12回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第二位入賞。第18回朝日作曲賞(合唱組曲)受賞。合唱作品:混声合唱とピアノのための組曲『夢の意味』(東混委嘱作品、2007; Fontec/全音)、混声合唱とピアノのための組曲『鎮魂の賦』(2007; Fontec/全音)等。オーケストラ、室内楽、合唱のための編曲等多彩な活動を行っている。現在、東京藝術大学および附属高等学校、国立音楽大学、桐朋学園大学、各非常勤講師。

■スヴェン・テウール (1959-) (作曲)

エリッキ＝スヴェン・テウールはエストニア生まれ。タリン音楽学校でフルートと打楽器を学んだ後タリン音楽アカデミーで作曲を学んだ。一方で、「In Spe」というロック・グループを率いて活動するなど多彩な活動を展開。In Speを脱退した頃ベレストロイカの到来と重なり西側からも注目されるようになった。ヘルシンキ・フィルム、ヒリヤード・アンサンブル、パーミンガム市交響楽団などの委嘱も受けている。エストニア文化賞を受賞。

■マデトヤ (1887-1947) (作曲)

リービ・マデトヤは北フィンランドのオウル生まれ。シベリウスの後を継ぐフィンランドを代表する作曲家。貧しい幼少期にもかかわらず知的な母親のおかげで民謡に親しむ少年時代を過ごした。後に音楽アカデミーに進んで合唱に目覚め、50数曲の男声合唱曲、40数曲の混声合唱曲を世に出し、自らも合唱指揮活動を行った。

東京混声合唱団

第228回定期演奏会

〒160-0005 新宿区愛住町23番地 ベルックス新宿ビルⅡ 6F